TS03 用アプリケーションボード

03-4swRXBDS

スクリュー端子台タイプ



野村エンジニアリング Nomura Engineering Co., Ltd. Since 1997



目次

1.	概要	. 3
2.	品番と構成	. 3
	各部の説明	
4.	電気的仕様	. 4
5.	端子台の接続について	. 4
6.	DIP SW について	. 5
7.	ID 登録(受信機)	. 5
8.	外寸	. 6
9.	回路図	. 7
10	注意事項	. 8
11.	取扱に関する注意事項	. 8
19	恋	8

1. 概要

送信機を ON すると対応する出力端子 IO1 から IO4 がアクティブとなり LED が点灯します。 出力は最大 1 A までの負荷を取り扱うことができますが,IO1 から IO4 が複数 ON する時は合計で 2A を超えないようにしてください。

電源 B+には $5V\sim30V$ を供給可能です。電源には逆接防止ダイオードおよびイグニションノイズ吸収素子が入っています。

2. 品番と構成

品番: 03-4sw RXBDS-# スクリュー端子台タイプ

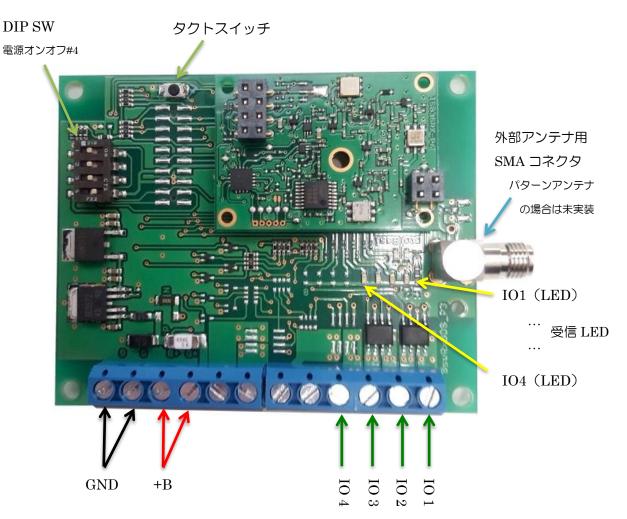
構成: #:出力選択 ・・・P (+B電源出力 オン時+B出力)

・・・N (オープンドレイン出力 オン時グランド)



↑写真は、TS03 GRX-CN(別売り)03-4swRXBDS-N で構成されています。 外部アンテナ用 SMA コネクタは、パターンアンテナや F アンテナの場合は未実装です。

3. 各部の説明



4. 電気的仕様

出力ポート : 4ポート

SW 信号を受信すると SW1-4 の該当接点が On 出力:最大1A以下(複数オン時は合計2A以下)

ID 登録数: 最大 30

電源:5~30V

端子台接続電線:AWG22~AWG14

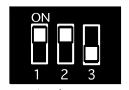
5. 端子台の接続について

スクリュー端子台の場合、端子台へのケーブル接続は AWG#22~#14 を使用してください。

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

6. DIP SW について

#4: PWR SW TS03 無線モジュールの電源スイッチです。 (モジュール以外の回路は外部でON/OFFする)



7. ID 登録(受信機)

送信機にはユニークな ID が記憶されており送信毎に ID が送出されます。この ID を受信機側に登録する事でペアリングを組んで使用します。最大30までの ID を受信側で登録することができるので1対多での利用も可能です。

ID 登録方法;

- ①受信機のタクトスイッチを押しながら電源を ON する。
- ②タクトスイッチを開放する。
- ③登録する送信機を ON して受信させると、ID が登録されます。 複数台登録する場合は続けて送信機を ON させてください。
- ④受信機の電源を OFF すると登録モード解除となります。

ID クリア (全消去);

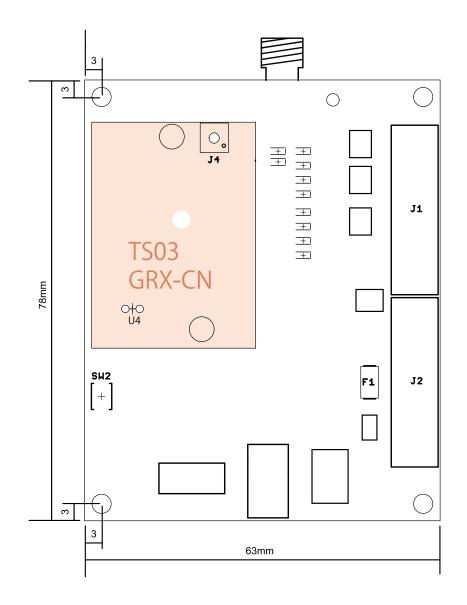
- ①受信機のタクトスイッチを押しながら電源を ON する。
- ②タクトスイッチを開放する。
- ③再度タクトスイッチを押下する。(全消去される)
- ④受信機の電源を OFF する。

ID 登録時の注意事項;

- 受信機に ID が登録されていない場合、通信できません。
- I D登録済み送信機の場合、LED が高速点滅となり、無視されます。
- I D登録数が最大30を超えると(31台目を登録しようとすると)、LED が高速点滅となり 登録は無効、上書きはされません。
- I D登録数が最大になった後に追加登録する場合は、I D消去(全消去)を行ってから再登録してください。

8. 外寸

穴径:約3mm



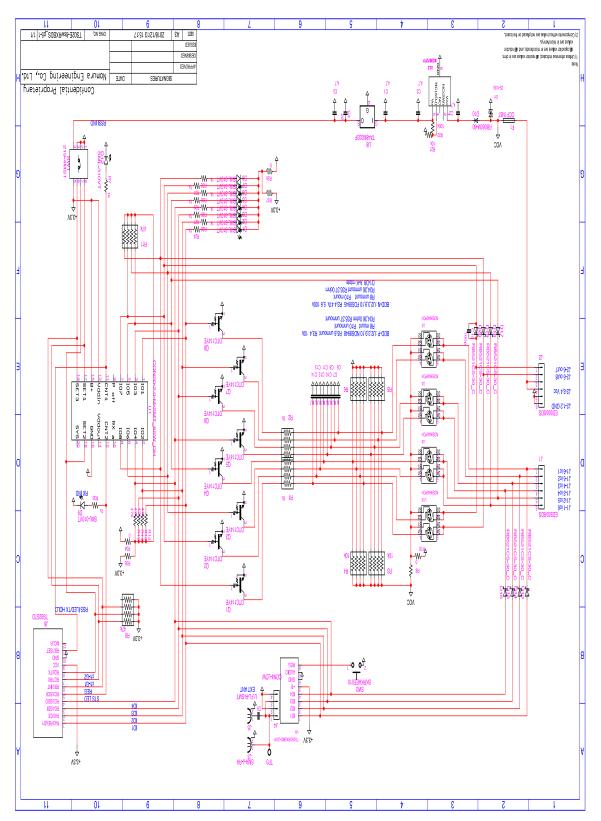
*高さ方向:

表面:端子台 10mm

基板:2mm 以下

背面: 端子台の足 3mm 以下

9. 回路図



製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

10. 注意事項

- 製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないでください。
- ・電源の極性を間違えて接続すると機器の故障の原因になります。電源は電圧範囲を守り、正しく接続してください。 煙が出たり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグを抜いて当社にご相談ください。
- ・強い衝撃を与えたり、水やその他の溶液に浸したりすると故障の原因となるので、絶対行なわないでください。
- 分解したり改造しないでください。
- •基板両面に小型チップ部品を多用しています。落としたりぶつけたりすると部品が剥がれたり、 基板のパターンがはがれたりして製品故障の原因となりますのでご注意ください。

11. 取扱に関する注意事項

- •高速ロジック回路やブラシモータから放射される高周波ノイズで受信の感度抑制が発生して通信距離が極端に短くなることがあります。その場合はノイズ源から受信部を遠ざけるなどの工夫をして下さい。
- •電波伝搬においてマルチパスで電波の強弱が発生しデッドポイント(ヌルポイント)が発生し、 送信機を傾けただけで受信できなくなることがあります。
- 製品の故障や誤作動が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。
- 電源の逆接は機器の故障になりますので、絶対行わないで下さい。
- ・強い衝撃を与えたり、水やその他の溶液に浸したりすると故障の原因となるので、絶対行わないで下さい。
- 分解して改造したりしないで下さい。
- アンテナを強く引っ張らないで下さい。
- •基板両面に小型チップ部品を多用しています。落としたりぶつけたりすると部品が剥がれたり、 基板のパターンがはがれたりして製品故障の原因となりますのでご注意ください。

12. 変更履歴

• 2021/05/27 初版